

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	道路建設課	
施策	27	交通環境の構築	評価 責任者	大坪 康宏	内線 2720
小施策	27-4	都市活動を支える幹線道路の整備	評価 シート 作成者	田口 順一	内線 2721

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
都市部の主要な道路については、公共交通の利用促進や中心市街地の活性化などを目的として、幹線道路としてのネットワーク形成を図るため、より効率的で効果的に整備を行う必要がある。	バス・自動車・自転車などの車両の円滑な走行空間や、安全な歩行空間の確保など、交通環境の改善を図るための幹線道路の整備を進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
幹線道路利用者	円滑に移動できる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価																									
指標① 幹線道路改良率		単 位	目指す方向	成 果 点	成 果 の 要 因 分 析																								
当初値 (H25)	63.9	%	↗																										
R1目標値	67.5																												
R6目標値	71.0																												
<table border="1"> <caption>実績値の推移 (幹線道路改良率)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値 (H25)</td> <td>63.9</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>65.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>65.6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>65.8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>66.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>67.5</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>71.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	当初値 (H25)	63.9	H27	65.4	H28	65.6	H29	65.8	H30	66.0	R1	67.5	R2		R3		R4		R5		R6	71.0	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路改良率が上がった。 ・着実に事業を実施しており、区間ごとに完成や供用をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治橋大沢川原線(大通工区)や盛岡駅南大通線(大沢川原工区)において移転補償工事が完了し用地が確保された。 ・上厨川厨川五丁目線(赤袋工区)の工事が年度内に完了し、梨木町上米内線(Ⅱ工区)においても無電柱化工事が残っているが、車道及び歩道の舗装が完了した。
年度	実績値 (%)																												
当初値 (H25)	63.9																												
H27	65.4																												
H28	65.6																												
H29	65.8																												
H30	66.0																												
R1	67.5																												
R2																													
R3																													
R4																													
R5																													
R6	71.0																												
問題点				問 題 の 要 因 分 析																									
<ul style="list-style-type: none"> ・事業費の確保が難しい。 ・入札不調等により発注が遅れ、工事の完成スケジュールが遅れている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・国費の内示率が低く、安定していないことによる。 ・年度の後半には業者の受注能力を超える発注量となり、業者が入札を見送る等、入札不調の原因となっている。 																									

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 「道路橋梁整備促進同盟会等事務事業」、「道路対策協議会事務事業」において、国への要望活動を行い、交付金の安定的な予算確保につなげる。 ★ 用地取得や補償については、概ね完了しており、着実な工事の実施により、街路整備の進捗を図っていくが、入札不調等によるスケジュールの遅れを回避するため、早期発注に努める。 	